

## 事務所長からのメッセージ

- 11月7日に発表しました[金融経済概況（道北地区）（11月）](#)では、道北景気の基調的な判断を、前月の「横ばい圏内の動きとなっている」のまま据え置くことにしました。
- 既に何度かこのコラムでも申し上げているとおり、国、道、市町村ともに、予算規模が縮小していることから、公共投資の減少基調は、はっきりとしてきました。また、住宅投資面では、改正建築基準法施行に伴う審査期間延長の影響が明確に出てきましたし、ガソリン・灯油価格の上昇も気になるところです。この間、個人消費は横ばい圏内の動きとなっています。こうした中で、[企業短期経済観測調査（道北地区）（9月調査）](#)などで確認される設備投資額を、当初計画比増額させる動きに注目しています。厳しい経済情勢の下であっても、将来に向けた投資には前向きに取り組んでいこうという当地経営者の意識の表れと捉えています。
- 今は、製造業の道外向け出荷が再び伸びていくような種まきを行う時ということだと思います。また、当地の素晴らしい資源である「食と観光」を道内外（外国を含む）に向けて更に情報発信（アピール）していく時でもあると思います。
- 北海道農業については、このほど道内の日銀支店・事務所が協力してレポートをまとめました（日本銀行札幌支店ホームページ内掲載「[北海道農業の現状と新たな取組み](#)」）。わが国の農業については、引続き解決すべき課題が多々あるものの、これを一つ一つ克服しながら変貌を遂げつつある北海道農業に対する日銀からのエールとご理解いただき、是非ご一読ください。
- また、観光に関しては、旭川地区を中心に近年目覚ましい展開がありますが、これを更に持続させるためには、どうしたらよいか。そしてその効果を点としてだけでなく、面として受け止めるためには、何が必要か。関係する方々は、既にそうした認識の下、一生懸命ご努力をされておられます。私も積極的に提言し、応援していきたいと思っています。
- 先日、日本ファイナンシャル・プランナーズ協会道北支部主催の「FPフォーラム in 旭川」に参加してきました。お金の話、年金の話、社会保険の話などに、地域住民の方々がとても熱心に耳を傾けておられました。私どもも、北海道金融広報委員会として地元の方々へ金融の仕組みを分かりやすくお伝えすべく、ミニ講座を行ったところです。
- マクロ経済をみていく上では、どうしても全体の成長、あるいは成長率という観点からよし悪しを判断しがちですが、地域住民一人当たりでみるとどうなるか、といった視点も重視されてよいかもしれません。また、欲を言えばきりがありませんが、ある程度の物質的な豊かさが充たされた後は、精神的な豊かさ、心の豊かさといった観点からみるとどうなるか、個人差が大きく客観的な測定がなかなか難しいと思います

が、暮らし易さ、居心地の良さ、のような概念でみていくことも必要かもしれません。

- 道北地域は、これからが冬本番。経済面では引続き厳しいものがありますが、地域住民にとってはもとより、道内外の方々に対しても温かい地域でありますように（懐具合だけでなく、身も心も温かい地域でありますように）。

平成 19 年 11 月 7 日